

2010年3・1ピキニデー集会

翼をひろげる若者たち

＝ピキニデーから、5月のニューヨーク、8月の広島・長崎へ＝



「原水爆の被害はわたしを最後にしてほしい」
の思いをこめて

茨城青年実行委員会委員長 飛田 文弘

私は、初参加にして初の実行委員会形式、更に初代実行委員長という極めて異例の状況で今回の「3・1ピキニデー集会」に臨む事となり、「ピキニデー集会」参加茨城青年実行委員会～ピキニデーに学び、伝え、広めよう～のスローガンを掲げ、2010年2月28日、翌3月1日にかけて静岡県焼津市、静岡市に行って参りました。

集会には、2月28日のみ参加3人、両日参加の8人、計11人を茨城県の青年代表として送り出すことが出来ました。

折しも不景気と重なり、参加者の参加費のみでは参加費用を十分に賄えない状態となり、多数の皆様のカンパ及びご支援、茨城県原水協のご協力の元、全日程を無事終える事が出来ました。ご支援、ご協力、大変ありがとうございました。

1日目は、チリ地震の影響により津波が来襲する恐れがある影響で、焼津市内での「動く分科会」が中止になるなど、分科会の一部で内容変更が行われました。そのため、第6分科会「ピキニ事件から学ぼう」の内容も大幅に変更され、中止となった第7分科会の参加者を含めて多数の参加者となり、会場に「グループ討論」と行う余裕がないとの事から、急遽全体討論に変

更されました。

2日目の「献花墓参行進」では、焼津駅前から故・久保山さんの墓がある弘徳院まで、多数の参加者と共に墓参行進をしました。行進の間、多くの焼津の方々が歩道や家、車や建物の中から見守る様子が大変印象的であり、焼津の方々にとっても大きな関心事である事を実感しました。

久保山さんの最後の言葉である「原水爆の被害はわたしを最後にしてほしい」…

未だ世界中に核兵器を持つ国家が多数存在する以上、原水爆の被害者が出る恐れがある事は間違いないでしょう。

少なくとも、本年5月に行われるNPT再検討会議で核兵器廃絶への動きに道筋を付け、核兵器の根絶が核兵器保有国をはじめ、全世界の合意となる事を願わずにはいられません。

「原爆マグロ」事件をきっかけに署名運動が全国で行われ、多くの国民が署名をしたという事を知る事ができ、「3・1ピキニデー集会」の反核行動が、「核武装」を推進する人々への意義ある最大の抑止力である事を実感した次第であります。

被爆体験の「継承と発信」を！

はばたき平和の会 関 静花

「被爆者には時間がありません。若い人が希望です。バトンを渡します。バトンを受け取ってください。」—日本被爆者団体協議会・小西悟さんの命が燃えるような訴えに涙がこみあげました。被爆体験を被爆者から次の世代へ引き継ぐ「継承と発信」が重要かつ急務の課題となっています。この「継承と発信」をキーワードとして、3月1日のピキニデー集会では、第五福竜丸事件の被爆の実相を伝える、朗読劇が披露されました。映像や音も含め、被爆した時どんな状況だったのか、被爆すると人間はどうなるのかということがリアルに感じられました。ピキニ環礁での核実験による放射能汚染は、「死の灰」となって危険水域の外側にまで降り、マーシャル諸島を汚染したほか、上昇気流に混じって雨となって降り注ぎ、また、汚染された海域の魚が海流に乗って、食物連鎖を通して汚染物質を濃縮させながら広大な範囲に広がるなど、世界規模の被害の恐ろしさを改めて実感しました。

そして「被爆」は、過去のことでなく、被爆者は、ヒロシマ・ナガサキ・ピキニで終わっていないのです。冷戦時代の核開発競争の激化により、世界中で核実験が行われ、被爆者が生み出され、また、戦争での劣化ウラン弾の使用により、被爆の被害は増え続けています。ジャーナリストの森住卓さんによる、マーシャル・アフガニスタン・イラクからの報告は、とても衝撃的でした。森住さんは、この3カ国の子供たちを取材し、被爆の実相を伝えています。イラク・アフガニスタンでは現在もアメリカ軍がテロリストの掃討作戦と称して戦闘を続けており、そのなかで劣化ウラン弾も使用されています。劣化ウラン弾は、戦車の装甲を突き破るだけでなく、放射能で汚染するという特徴があります。子どもたちが知らずに、破壊され放射能に汚染された戦車に近づき、知らぬ間に被爆しています。森住さんの報告の中では、直視できないような奇形児の写真や、麻酔もなく腹水の治療をする少年の写真が紹介され、劣化ウラン弾の残虐性、使用させてはいけない兵器だとあらためて思いました。そして、そのような兵器が使われる戦争もなくさなければという思いを強くしました。

今回は、5月のNPT再検討会議に向け、参加者の決意が多く語られた集会でした。オバマ大統領は、昨年4月のプラハ演説の後、「他国が核を持ち続ける限り、我々も持ち続ける」と発信しましたが、やはり見ているだけでは変わりません。私は今回の集会で、核兵器廃絶に向けた世界の流れも、原水協はじめ日本と世界の世論・運動が共同で切り開いたものだと実感し、人々の圧力で核保有国に核兵器廃絶を実行させることが重要だとわかりました。

さて、今後の活動について、NPT再検討会議まで、すでに2ヶ月を切っていますが、何が出来るか？と考えると、被爆の実相を伝え、国連に提出する署名を1筆でも多く集めることかなと思います。原水爆禁止運動・平和活動をピキニデー集会で終わらせず、「継承と発信」でまわりに広げる活動を考え、実行したいと思います。

平和新聞

2010年3月15日（月曜日）
1920号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版

No. 558
2010.3/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

伊藤千尋さん連日の茨城講演

講演

68ヵ国取材した「朝日」記者

伊藤千尋さん五霞町に来る！

と き：4月3日(土)午後1時～3時

ところ：五霞ふれあいセンター（ホール）

講演：「憲法を活かす時代ー世界から見た9条ー」

講師：伊藤 千尋氏（朝日新聞記者・
国際ジャーナリスト）

参加費：無料

主催・問い合わせ：9条の会ごか 代表 大谷隆照
(0280-84-0726)

※車のない方はお知らせ下さい。乗り合わせて行きましょ
う。ひとりでも多くの方のご参加をお待ちしています！

茨城 AALA 第7回総会記念講演会

ラテンアメリカはなぜ？変わったのか

と き：4月4日(日)午後3時～4時半

ところ：水戸市国際交流センター 多目的ホール
※駐車場が少ないため、出来ればバスか乗り合わせてお出
かけ頂ければ幸いです。

※講演会前は AALA 総会です。傍聴自由です。

講演会は資料代 300 円頂きます。

講演：伊藤 千尋氏（朝日新聞記者・
国際ジャーナリスト）

主催・問い合わせ：茨城県アジア・アフリカ・ラテン
アメリカ連帯委員会（029-241-1770）
e-mail nosaka-hidekazu@lemon.plala.or.jp

5・3憲法フェスティバル・フシ企画

茨城空港・百里基地の見学

と き：3月30日（火）午前11時空港駐車場集合
憲法9条・自衛隊・安保そして茨城空港について考えて
みませんか。ご参加お待ちしております。

.....

水戸商店街ポスター張り出しのご協力を!!

4月3日(土)午前10時～12時 水戸翔合同法律事務所集合
また午後からはチラシ宣伝及び核兵器廃絶署名行動を行ない
ます。ご参加、ご協力をお願いします。

国民平和大行進実行委員会結成総会及び NPT 参加者激励集会

と き：4月17日(土)午前10時～12時

ところ：県民文化センター分館9号室

結成総会の主な議題：

1. 今年の平和行進の特徴と実施要綱
2. 日程及びコース責任者について
3. 実行委員会団体の確認と拡大について
4. 財政について

結成総会は11時を目途に終了し、引き続きNPT再検討
会議ニューヨーク行動参加者の激励集会を行います。

東海村平和委員会

靖国神社・遊就館

見学ツアーのご案内

と き：3月26日(金)午前7時

集合場所：東海村いこいの森駐車場

交通費：無料(ただしガイド代500円入館料昼食代は別)

見学：遊就館(昼食を含め3時間)

千鳥ヶ淵戦没者墓苑(20分)

しょうけい館(50分)

帰着 午後6時

主催・問い合わせ：東海村平和委員会

川崎勝男(282-0229) 加藤岑生(282-9067)

服部成雄(282-7700) 本郷愛子(282-2597)

※先着25名(バスの定員)で締め切らせていただきます。

お早めに申し込み下さい。

茨城革新懇シンポジウム

これからの日本

安保条約はプラスかマイナスか

と き：4月10日(土)午後1時30分～

ところ：水戸市民会館大会議室

資料代：500円

パネリスト

小泉 親司氏(元参議院議員・日米関係研究者)

田村 武夫氏(茨城大学名誉教授)

主催・問い合わせ：平和・民主・革新の日本をめざ
す茨城の会(茨城革新懇)(080-5525-0536)

憲法フェスティバル実行委員会のご案内

3月20日(土)午後2時～

第3回実行委員会 国際交流センター

各団体の皆さん奮ってご参加下さい。

3.15/4.16弾圧事件記念講演会

「治安維持法と茨城の作家たち」

と き：4月17日(土)午後1時30分開会

ところ：県民文化センター分館8号室

講師：奈良 達雄さん(新日本歌人協会前代表幹事)

資料代：500円

プログラム○ビデオ上映「燃やし続けた炎」

○講演「治安維持法と茨城の作家たち」

主催：3.15/4.16弾圧事件記念集会実行委員会